

人口減少時代の
新しい地域づくりに資する
社会教育事業に関する調査研究

～住民の主体的な地域づくりを進めるプロセス・手段とその評価の検証～

令和5年3月

北海道立生涯学習推進センター

はじめに

本道においては、全国を上回るスピードで人口減少が進んでいるほか、生産年齢人口が減るとともに高齢者人口と年少人口が逆転するなど、少子高齢化が大きく進行しています。

また、社会生活を一変させた新型コロナウイルス感染拡大は、地域での社会教育活動にも大きな影響を及ぼすとともに、孤独や孤立といった問題が顕在化し、深刻化させる契機にもなったと言われております。

このような中、持続可能で安心・安全に暮らせる社会や孤立しがちな若者や高齢の方などを支え合う社会を実現していくためには、生涯学習や社会教育の役割が重要とされており、様々な課題が山積する中、地域が持つ教育機能を活かし、より多くの住民の主体的な参加を得られるような取組の工夫が一層必要となっております。

こうしたことから、道立生涯学習推進センターでは、地域の課題解決を目指す住民参画型の事業「ほっかいどう学地方創生塾」を実施し、地域の特性を活かしたプロセス・手段とその成果を発信することで、各市町村において住民が主体となる多様な取組の展開に寄与することを目的に、調査研究を行いました。

本調査研究は、令和元年度（2019年度）から令和4年度（2022年度）の4ヵ年で実施した調査研究の最終報告です。

本報告書が市町村をはじめ、多くの社会教育関係者の皆さまに活用され、今後の地域課題を扱った社会教育事業を企画する際の一助となれば幸いです。

結びに、本調査研究の実施及び報告書の作成に当たり、御支援・御協力をいただきました自治体の関係者をはじめ、多くの皆さまに心から厚く御礼申し上げます。

北海道立生涯学習推進センター所長 桑原 知己

目 次

はじめに

第1章 調査研究の概要	1
1 調査研究の目的 -----	3
2 調査研究の計画 -----	3
(1) 令和元年度（2019年度）：実態調査・事例研究（聞き取り調査・視察） -----	3
(2) 令和2年度（2020年度）：パイロット事業の実施・検証 -----	3
(3) 令和3年度（2021年度）～令和4年度（2022年度）：モデル事業の実施・検証 -----	3
3 調査研究の対象 -----	6
4 調査研究の方法等 -----	6
第2章 住民の課題意識と学習機会に係る実態	9
1 調査の目的 -----	11
2 調査の方法 -----	11
(1) 生涯学習推進体制の整備状況調査 -----	11
(2) 生涯学習に関する住民の意識調査 -----	11
3 調査の内容 -----	12
4 調査の結果 -----	12
(1) 各種構想・計画の状況 -----	12
(2) 生涯学習推進上の課題 -----	13
(3) 住民の課題意識と学習機会 -----	15
5 過去の調査結果との比較 -----	17
(1) 調査の目的 -----	17
(2) 平成20年度（2008年度）調査の概要 -----	18
(3) 調査結果の比較 -----	20
(4) 考察 -----	21
第3章 実践事例報告	23
1 網走市（オホーツク管内） -----	25
2 伊達市（胆振管内） -----	32

第4章 モデル事業 41

1 鷹栖町（上川管内）	43
2 芦別市（空知管内）	57
3 成果と課題	69
(1) 鷹栖町のモデル事業	69
(2) 芦別市のモデル事業	69

第5章 モデル発展実践事業 71

1 芦別市における事業の概要	73
2 事業の実施概要	75
3 調査の方法	90
4 調査の結果	92
5 成果と課題	95

資料 97

1 令和4年度生涯学習推進体制の整備状況調査票	99
2 令和4年度生涯学習に関する住民の意識調査票	101
3 ほっかいどう学地方創生塾実施要領	107
4 令和2年度ほっかいどう学地方創生塾開催要項	119
5 令和3年度ほっかいどう学地方創生塾開催要項	110
6 令和2年度ほっかいどう学地方創生塾事前アンケート用紙（鷹栖町）	111
7 令和2年度ほっかいどう学地方創生塾事後アンケート用紙（鷹栖町）	112
8 令和2年度ほっかいどう学地方創生塾事前アンケート用紙（芦別市）	113
9 令和2年度ほっかいどう学地方創生塾事後アンケート用紙（芦別市）	114
10 令和2年度ほっかいどう学地方創生塾事後アンケート用紙（参加者用）	115
11 令和2年度ほっかいどう学地方創生塾事後アンケート用紙（担当者用）	116
12 令和3年度ほっかいどう学地方創生塾アンケート用紙	117

